



三年先の稽古

発行日：令和3年10月15日

文責：校長 星野 亜希

【た】たくましく健やかな生徒 【い】いのちを尊ぶ温かな生徒 【しん】真実と夢を追求する生徒

※大信中学校ホームページもあわせてご覧ください。

聖流祭に向けて

令和3年度聖流祭テーマ： みんなの笑顔は輝く宝石！！～いざ羽ばたけ大信の常笑軍団～



聖流祭実行委員会が何度も行われ、企画運営の確認を行いました。アイデアを出し合い、協力して作業を進めました。



一人一人がピクアートの自分の担当場所に色をぬりました。全員が1つの作品完成に向けて取り組みました。



生徒会本部は毎日、仕事に追われていました。なかなかよい考えが浮かばずに苦戦することも度々ありました。



新聞委員会では新聞コンクールに向けて、4月から毎月作ってきた学級新聞を掲示します。



実行委員がオープニングムービーの制作を行いました。みんなに楽しんでもらおうと意見を出し合っていました。



聖流祭のメインとなる合唱披露。各学年、聴く人の心に響くような合唱を作り上げるために一生懸命練習しました。

今年度の聖流祭は大信中学校にとって37回目、「聖流祭」という名前がついてちょうど30回目となります。今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、半日開催となりました。とは言っても、生徒が練習や準備に励んできたことや日頃の勉強の成果を発表する日としては変わりありません。生徒は今できることを楽しみながら精一杯やってきました。

心を通わせることを1つの目標とする聖流祭。今年度は「みんなの笑顔は輝く宝石！！～いざ羽ばたけ大信の常笑軍団～」をテーマに、生徒のそれぞれの良いところや得意とするところを生かし、仲間とともに協力して聖流祭を作り上げてきました。互いの良さを認め合い、それぞれの良さや良さが重なり合い、大切な絆を作っていくものになったと思っています。聖流祭へ向けて仲間と準備や練習をしていく中で、生徒の中で意見のくい違いや思うようにいかないもどかしさ、折り合いをつけることの難しさなどさまざまなことを感じたのではないかと思います。聖流祭への取組の過程が生徒の心を耕し、心を育ててきたことは間違いありません。生徒には、聖流祭を通して、大信中学校という絆の中に自分がいる喜びをじっくりと感じてほしいと強く願っています。